

# 常滑市民病院だより

発行者：病院長 鈴木 勝一  
編集：病院広報委員会  
**第49号**  
2009年10月1日発行



「5階病棟からみた、夕日に映える伊勢湾の風景」

## — 第49号の内容 —

- \*「経営改善について」  
管理課長 織田 登
- \*「お薬手帳」活用していますか？  
薬剤師 山中友紀子
- \*「お知らせ」  
…インフルエンザの予防接種…
- \*「助産師外来の役割とは？  
そして今思うこと」 助産師 八木 和子
- \*「糖尿病教室のご案内」  
管理栄養士 杉江美千代

今回「健康講座」はお休みします。

## 「経営改善について」

管理課長 織田 登

当院は昭和34年5月の開設以降、常滑市の基幹的な公的医療機関として地域住民のみなさんのニーズに応えるべく努力してまいりました。しかし、医療に対するニーズの多様化、医師や看護師の不足、施設の老朽化、昨今の診療報酬改定などの影響で経営状況は思わしくありません。

このような状況は多くの公立病院においても同様であり、国は必要な医療機能を備えた体制を整備するとともに、経営の効率化を図り、持続可能な病院経営を目指すため、「公立病院改革ガイドライン」を策定し、すべての公立病院に、自ら今後の指針を定め、具体的計画を策定・実施するよう求めてきました。

当院も今年3月に「常滑市民病院改革プラン」を策定し、経営改善に努めているところです。しかし、平成20年度の県下公立病院（県立、名古屋市立を除く。）の決算見込みでは、2病院を除いてすべて赤字となっているように、公立病院の経営状況は非常に厳しいものとなっています。

改革プランでは、「経営の効率化」「再編・ネットワーク化」「経営形態の見直し」という3つの視点について基本方針として掲げています。その中で、具体的な数値目標を掲げ収支改善を図っていかうとしています。

しかし、医師の退職による患者数減などにより数値目標達成が難しいものになっています。そこで、診療請求上の見直し、診療材料などの経費削減、病床数の適正化による人件費の削減などに努め、収支改善につながるよう、職員一丸となって努力しているところです。経営改善は、新病院建設に向けての一つの大きなハードルにもなっており、目標達成に少しでも近づくよう、職員一同頑張っていきます。





# 「お薬手帳」活用していますか？

薬剤師 山中 友紀子

薬局や病院で「お薬手帳をお持ちですか？」と尋ねられた経験がある方が多いと思います。「お薬手帳」はみなさんが今までに飲んだり、使ったりしたお薬の名前や量、回数などを記録する手帳、すなわちご自身の薬の履歴を記録しておくものです。

## ★「お薬手帳」の役割と活用の具体的なポイント!!

### ① 病院、歯科医院を受診する時は持参しましょう

かかりつけ以外の病院、診療所、歯科医院にかかった時、「お薬手帳」を見せることで、同じような薬がでていないか、飲み合わせが悪くないかを確認してもらえます。また入院時には、服用している薬といっしょに「お薬手帳」を持参するとよいでしょう。

### ② 薬局で市販薬や健康食品を購入する時にも見せましょう

市販薬や健康食品の中にも飲み合わせの悪いものがあります。購入の際には「お薬手帳」を持参し、薬剤師に飲み合わせが悪くないかを確認してもらいましょう。また購入した商品の名前を「お薬手帳」に記録しておくとう便利です。

### ③ 外出時には持ち歩きましょう

出張や旅先などで急に体調が悪くなり、初めての医療機関にかかる時、「お薬手帳」を持っていれば、医師に薬の情報が的確に伝わり、適切な治療を受けることができます。また災害時などにも役立ちます。日頃から持ち歩く習慣を身に付けましょう。

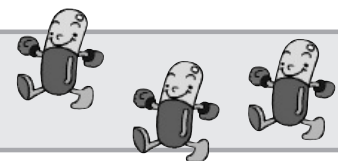
### ④ 副作用や体調について記入しましょう

副作用が起こった薬を記録することで、同じ副作用を起こすことを防ぐことができます。また新しい薬を飲み始めてからの体調の変化など気になったことをメモしておく、医師・薬剤師に相談するのに役立ちます。

### ⑤ 「お薬手帳」は 1 人 1 冊！

「お薬手帳」は必ず 1 人 1 冊、病院や薬局ごとに分けて作ってはいけません。

「お薬手帳」を今まであまり利用していなかった方は、これから活用してみてくださいね。



## お知らせ (季節性)インフルエンザ予防接種を希望される方

(季節性)インフルエンザ予防接種を希望される方は、診察時、主治医にご相談のうえ、正面玄関予約センターにてご予約ください。(10月5日から予約開始中)  
ただしワクチンの入荷状況により、予約を中止することがあります。

★新型インフルエンザ用ではありません。厚生労働省から詳細な情報が入り次第、接種等についてお知らせいたします。

# 「助産師外来の役割とは?そして今思うこと」

助産師 八木 和子

今年4月から産科新体制に伴い「一回の出産を大事にしたい」という気持ちと「施設内の助産師職の専門性を確立したい」と言う考えから助産師外来を立ち上げました。一言で助産師外来と言っても形態・目的・役割は様々です。当院は外来担当助産師が検査・計測・(エコーはやっていません)胎児心拍モニタリングを行い、保健指導にける時間は1人30~40分、妊娠中の生活や母乳育児に向けての説明、妊娠やお産に関する不安・疑問を個別で指導しています。当院でお産を希望する理由に“総合病院だから安心”という方がほとんどです。私たちは、毎回の妊婦健診では全員の妊婦さん対象に、妊婦プロフィール用紙を作成し家族背景、生活状況、既往歴、分娩歴など周産期、育児期に必要な情報を個別で得て指導を行なっています。このことはハイリスク妊娠・ハイリスク家庭を早期発見することになります。そして、妊娠期だけでなく分娩、育児期への援助につなげることができます。

助産師外来では、一定の判断能力と保健指導技術が要求されます。そのため、経験10年以上(5名)の助産師が担当し、助産師間で情報を共有し、長い経験の中で積み重ねてきたものを妊産婦さんに提供しています。この助産師外来の経験が、逆に私たちのスキルアップにもつながっています。

妊娠やお産は女性だけでなく家族にとっても一大イベント。公立病院では、要望を聞いてもらえないという声を耳にします。制約は多いですが、助産師外来の中で出来る限り、妊婦さんの要望をバースプランに取り入れて援助していきたいと思っています。開設してから6ヶ月、分娩時・産後における助産業務はわずかな日数です。このことから、妊娠から産後まで一貫性のある母子管理を充実させるには妊娠早期からのかかわりは不可欠です。妊娠中の過ごし方が分娩・育児に影響してくることは助産師外来を通して改めて感じています。



## 助産師外来の受診方法

### 【予約方法】

常滑市民病院・産婦人科外来、又は電話で受診予約をする。(助産師が受診予約の対応をします)

### 【助産師外来の受診時間と場所】

毎週火・金曜日 14時~17時 産婦人科外来

### 【相談内容】

妊娠中の過ごし方、体重管理、食事指導、母子同室について、おっぱいの手入れ・マッサージについて、お産の準備について(バースプラン)、など

### 【費用】

妊娠中の保健指導(妊婦全員)…1回1000円  
退院後の乳房マッサージ…1回2000円  
育児指導…1回1000円





# 糖尿病教室のご案内

常滑市民病院では1シリーズ6回で糖尿病教室を開催しています。現在、日本人の6人に1人以上に発症している病気について各分野の専門家が詳しくお話しいたします。糖尿病で治療をされておられる方、またそのご家族の方、糖尿病予備軍の方、糖尿病に関心のある方など、どなたでも参加していただけます。参加費無料で予約の必要もありません。秋から来春にかけてのシリーズが始まるこの機会に、皆様お誘い合わせのうえお越しください。開催日と講義内容は次のとおりです。

## 第1回 10月20日(火)

1. 糖尿病とは(内分泌内科医師)
2. 糖尿病の検査(臨床検査技師)

## 第2回 11月17日(火)

1. 食事療法(管理栄養士)
2. 薬物療法(薬剤師)
3. 低血糖について(内分泌内科医師)

## 第3回 12月15日(火)

運動療法(理学療法士) ※簡単な運動ができる服装でお越しください。  
糖尿病の予防、治療のための運動について、実技を交えて説明します。

## 第4回 1月14日(木) 合併症①

- ①網膜症(眼科医師)  
糖尿病による視力低下の原因、症状、その治療について説明します。
- ②腎症(腎臓内科医師)  
糖尿病による腎不全について説明します。
- ③心臓病(循環器内科医師)  
糖尿病による心疾患について説明します。

## 第5回 2月9日(火) 合併症②

- ④神経障害(内科医師)  
糖尿病による感覚の鈍りについてお話しします。
- ⑤壊疽(内科医師)  
血液の循環不良による治りにくい傷についてお話しします。  
日常生活の留意点(看護師)

## 第6回 3月9日(火)

食事療法「カードバイキング」(管理栄養士)  
料理の写真を選んでいただき、バランス感覚を評価いたします。



## 編集後記

暑い夏も終わり、過ごしやすい季節となりました。日本の政治も自民党政権から民主党政権に代わりましたが過ごしやすい国になるのでしょうか。民主党のマニフェストにある、医療に関する内容は「医療崩壊を食い止め、国民に質の高い医療サービスを提供する」というものです。ぜひこの政策を遂行していただき、医療・福祉に係る環境が少しでも良くなる(過ごしやすくなる)ことを期待します。

(編集担当 中谷)